

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和2年度)

施設 の 名 称	宮城県コスモスハウス
指 定 管 理 者 の 名 称	社会福祉法人 宮城県福祉事業協会
施 設 所 管 部 課 (室)	保健福祉部子ども・家庭支援課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成15年4月 ~ 平成18年3月	管理委託	社会福祉法人 宮城県福祉事業協会	
平成18年4月 ~ 平成23年3月	指定管理者	社会福祉法人 宮城県福祉事業協会	
平成23年4月 ~ 平成28年3月	指定管理者	社会福祉法人 宮城県福祉事業協会	
平成28年4月 ~ 令和3年3月	指定管理者	社会福祉法人 宮城県福祉事業協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	社会福祉法人 宮城県福祉事業協会
	所在地	仙台市太白区茂庭台二丁目15-20
指 定 期 間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日 (5 年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	社会福祉法人 宮城県福祉事業協会	
所 在 地	宮城県	
設 置 年 月	昭和22年6月	
根 拠 条 例 等	婦人保護施設条例 婦人保護施設条例施行規則	
設 置 目 的	生活上困難な問題を抱えた女性を保護し自立支援を行う。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	7,006.13㎡(その他併用施設の敷地を含む)
	構 造	鉄筋コンクリート造3階建て
	内 容	事務室、相談室、多目的室、居室等
開 館 (所) 日	通年	
開 館 (所) 時 間	24時間	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人保護施設条例第3条各号に掲げる業務 ・保護施設の維持管理に関する業務 ・その他、知事が別に定める業務 	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
開館(所)日数	365 日	366 日	365 日	100.0%	99.7%
延べ利用者数	0 人	1,623 人	1,575 人	#DIV/0!	97.0%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	0 人	0 人	0 人	#DIV/0!	#DIV/0!

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
県指定管理料	61,756	59,661	59,124	95.7%	99.1%
利用料金収入				#DIV/0!	#DIV/0!
その他				#DIV/0!	#DIV/0!
収入計 (a)	61,756	59,661	59,124	95.7%	99.1%

(2) 支出

人件費	40,981	34,761	41,574	101.4%	119.6%
施設管理費	12,105	12,299	11,415	94.3%	92.8%
事業運営費	8,670	6,016	6,039	69.7%	100.4%
その他	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	61,756	53,076	59,028	95.6%	111.2%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	6,585	96	#DIV/0!	1.5%
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(令和2年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	評価	県の評価 【施設所管課記入】		評価
①管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 職員は福祉、相談業務の豊富な経験や専門の資格を有した人員を配置。 資質向上を目的とし施設内外の研修など利用者の自立に必要な専門知識を習得。 年間9回延べ12名が外部研修に参加(DV関係、児童虐待、相談技術研修)研修委員が内部研修を企画し年7回延べ63人参加。 		<ul style="list-style-type: none"> 支援に必要な専門知識や資格を有した臨床心理士、看護師を配置 コスモスの理念に基づき自己決定を尊重し自己実現に向けた支援に努めた 研修については支援の資質向上だけでなく防災などの施設管理強化としての研修を受講し利用者の安全で安心した自立に向けた施設運営に努めた 	S	<ul style="list-style-type: none"> 施設の特長上、非常に専門性の高い人材が必要とされるが、適切な運営体制を確保し、利用者の人権に配慮した運営を行っている。 外部への研修参加のみならず、内部研修についても積極的に行われおり、職員の資質向上が図られている。 		S
人員体制	5人	非正規 4人					
②施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> 業務員が中心となり施設内の環境整備と維持管理に努め、居室は毎週計画的に清掃を行い衛生管理に配慮した。 コロナ感染防止対策の注意喚起に努め施設内消毒を徹底。 施設内のメンテナンスについてはコロナ感染予防のため高圧洗浄は見合わせ、ワックスがけは一部のみ行うなど最低限にとどまった。 		<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染防止の観点から職員全員が換気、消毒など施設管理に取り組んだ 居室の退所後について掃除など美化や設備の整備に取り組み修繕費の削減に努めた。 消防設備については法令に基づき定期的な管理に努めた 	S	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務として定められた施設の維持管理はもとより、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底し、適切に施設の維持管理に努めている。 		S
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営方針は事業計画に基づき実施 年間利用者18人(大人18人同伴児18人)延1,575人単身女性母支援(支援14項目:4,937件)同伴児支援(支援6項目:838件)看護師による支援(584件)心理員による支援(222件同判事を含む)アフターケア286件 関係機関と連携し課題解決に努めた 		<ul style="list-style-type: none"> 今年度は高齢者の利用も多く専門的知識を必要とし関係機関との調整や連携し退所後はアフター支援と連携し孤立しない安心した生活の支援に努めました。 精神的に不安定な利用者や養育に課題を抱える利用者に対して心理員の心理的ケアや心理教育、看護師の健康チェック、健康相談を通して自分を見つめ、自己回復の支援に努めた。 	S	<ul style="list-style-type: none"> 入所者の個々の状況に応じた適切な支援の実施により、入所者の早期回復、自立に繋がっている。 障害や様々な理由を抱え入所された方に対し、専門職員による支援の他、関係機関と連携し、適切に対応している。 県で実施している自立生活援助事業との連携により、効果的に退所者の自立支援に努めている。 		S
④自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 施設の特長や建物の環境により自主事業に制限がある 退所後のアフター支援について県のアフター事業と連携し実施 		<ul style="list-style-type: none"> 施設の特長から自主事業は難しい環境のため、寄贈された食品や物品を退所者に連絡し訪問するなど地域での孤立しないよう継続した支援に努めた アフター支援員に同行支援を相談するなど電話だけでなくメールも多く時代のニーズに添った支援に努め、継続した見守りに努めた 	A	<ul style="list-style-type: none"> 秘匿性が求められる施設の性質上、活動に制限がある中で、NPO団体等との連携により、退所者へのサービスの提供に努めている。また、メールなど多様な相談手法を取り入れ、ニーズに応じた支援に努めている。 		A
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議、処遇会議、ケース検討会に積極的に参加し精神的課題や養育困難な課題や高齢者の対応として医療機関を含め関係機関と連携し支援の資質向上に努めた 精神疾患や愛着障害を有する利用者への心理員の心理教育や心理支援に努め多職種職員と協働した支援に努めた。 利用者への支援は③に記載 		<ul style="list-style-type: none"> 多岐にわたる支援課題に対しての専門知識や同伴児に対しての学習支援や心理的ケアなど課題は複雑化している。 自立には退所後も継続して対応できる機関連携のシステムの構築や市町村の要保護児童対策協議会との連携のあり方を検討する必要があると考える 	S	<ul style="list-style-type: none"> 処遇会議やケース検討会の積極的な実施により、職員の資質向上を図りながら、様々な事情を抱える利用者へ幅広い支援を行っている。 心理士による母子への心身のケアを実施するなど、支援の充実に努めている。 		S
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> 利用者には入所時に施設の利用や苦情解決制度を説明し苦情に至らないよう日常の関わりや対応に努めている 退所時にアンケートを実施。質問13項目自由記載→14人 はい171人 いいえ2人 どちらでも1人 今年度職員に対しての苦情0件(制度活用なし) 		<ul style="list-style-type: none"> 入所時の施設利用説明を行い理解を求め十分に話ができるよう普段の関係性を大事にし状況を把握しながら支援に努めた 利用者アンケートや要望や意見を大事にし職員会議で共有し対応を話し合い支援の資質向上に努めた。 	S	<ul style="list-style-type: none"> 入所者からの意見を聞く機会を多く設けており、苦情に対しても迅速かつ丁寧に対応している。 		S
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 非常災害対策計画及び危機管理マニュアル等整備し安全管理に努めた 関係機関と防災会議を開催、防災訓練はコロナ感染防止の観点から机上訓練とした 年12回防災訓練開催(避難訓練12 通報1 防災機器使用1) 全室に家庭用消火器 非常持ち出し袋の設置 不審者対応訓練強化のために関係機関と連携強化し緊急時に備えた 		<ul style="list-style-type: none"> 年2回の消防点検、月1回の防災訓練 エレベーター点検を実施し利用者の安全管理に努めた コロナ感染防止対策について3施設で対応を協議し、感染防止に配慮した安全対策に努めた 常に看護師による健康チェックを実施し健康管理に努めた 	S	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応マニュアルの整備や防犯訓練の実施等、安全対策が適切に実施されている。 専門職員による指導や関係機関との連携により、入所者の安全対策が十分に図られている。 訓練方法を工夫し、感染防止に配慮した安全対策に努めている。 		S
⑧県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> 利用者は関係機関から措置となる 事前協議を実施し国籍や障害等にとらわれず受け入れを行った 		<ul style="list-style-type: none"> 関係機関からの措置依頼については障害、国籍、年齢にかかわらず適正且つ平等に受け入れられている 関係機関や退所者からの電話相談等には常に対応している 	S	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関からの依頼・相談に適切に対応するとともに、国籍や障害の有無に関わらず、平等に受け入れを行い、処遇の充実に努めている。 		S

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護規定や施設倫理綱領を定め守秘義務等に努めた 利用者同士の情報交換について、利用者の安心した生活が保たれるよう、個人情報の取扱いに留意して生活するよう指導した 職員の情報管理教育から情報や記憶媒体による情報の持ち出しの禁止など徹底した管理に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護規定遵守について職員一同が意識を持ち利用者の安全を守るためには守秘義務が重要であり、職員の徹底した管理に基づく情報の漏洩防止に努めるよう職員会議で共有した 利用者同士の情報交換や職員の情報漏洩など個人情報保護の理解に努めた 関係機関との連携が必要であり情報取扱いについて対応を共有した 	S	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護管理規定等が職員に十分に周知され、職員の個人情報保護に関する意識が非常に高い。 外部に対する情報漏洩防止対策が徹底されている。 利用者に対する個人情報取扱いに関する説明の実施など、情報管理に細心の注意を払っている。 	S
⑩利用実績	<ul style="list-style-type: none"> 上記4(1)に記載 	<ul style="list-style-type: none"> 県の決定による受入れは前年比97%あった 入所課題は多岐にわたり専門的知識や社会資源の活用など様々なスキルが要求され研修などで習得に努め支援の資質向上に取り組んだ。 退所者からの電話やメールによる生活相談、通院同行など地域で安心して生活できるようアフター支援に努めた。 	S	<ul style="list-style-type: none"> 延べ利用者数が昨年から比較し減少しているものの、複雑な事情を抱え長期的に支援が必要な入所者に対し、適切かつ丁寧な対応に取り組んでいる。 	A
⑪収支実績	<ul style="list-style-type: none"> 上記5に記載 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の支援の資質向上に努め施設管理としての環境維持に取り組み節水 節電 ごみの軽減など節約節減を心がけた 今年度の事業計画対比95.7%とほぼ事業計画通りの事業が達成されたと評価している 	A	<ul style="list-style-type: none"> 支援の質を確保しながら管理経費等の削減に努めている。 	A
⑫その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> 県の環境保全率先実行計画に基づいた環境配慮実践事業所の認定を受け、ごみの減量化やリサイクル等に継続して取り組んだ 関係機関と連携し入所者の福祉の向上と自立に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営に関する環境に配慮する取り組みについて、県から指定された環境に配慮し、活動を行った。同じ実施機関として連携し県民の福祉向上に努めた 	S	<ul style="list-style-type: none"> 県の環境配慮実践事業所の認定を受けるなど、積極的な環境配慮の取組みが評価できる。 併設する県機関との協力体制の強化に努めている。 	S
総合評価		<ul style="list-style-type: none"> 今年度は高齢者の入所も多く課題も複雑多岐に渡り専門的知識が要求され職員は研鑽を積み関係機関と協働し連携し、理念に基づく支援ができたことと評価している。 退所した利用者の通院や行政手続きなどアフター支援事業と連携し、地域で孤立しないための支援に努めた コロナ感染予防対策について関係施設と対応を協議し適切な施設運営に努めた 	S	<ul style="list-style-type: none"> 入所者の課題が複雑化・多様化するなかで、職員の資質向上を図り、一層の支援の充実に努めている。 退所者への支援に関しても、関係機関との連携により、効果的な支援の実施に努めており、常に当事者の視点に立った対応に配慮している。 	S

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 入所者の課題に対して専門的知識が求められる一方で、社会資源としての関係機関との連携が大事な支援力となり、退所後安心して生活するための関係機関との強化できる体制を構築することが今後の課題と考える。 心理的支援が女性だけでなく同伴児にも必要な支援となっている。支援には他職種職員との連携や夜間警備など安心した施設運営に努めていくことが今後の施設の課題と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> DV等、複雑化する入所課題に適切に対応できる体制が確保されるよう、適切な人員配置について検討していく。